



東長崎

—ひがながプライド—

HIGANAGA PRIDE

PRIDE



HIGASHI NAGASAKI JHS

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市立東長崎中学校

学校だより 第 3 号

令和 6 年 5 月 17 日発行

大会スローガン

シン・ヒガナガ ～信じる心で突き進め新たな東長へ～

令和 6 年度体育大会開催

今年の体育大会は、残念ながら天候に恵まれず、日曜開催とはいきませんでした。生徒の情熱は消えることなく、翌日の 5 月 13 日（月）に素晴らしい体育大会を開催することができました。保護者、地域の方々に、本校の掲げる「東長プライド」を示すことができたのではないかと思います。

今大会では「する・見る・支える」の考えを根底に据え、縦割り種目の導入・応援旗の作成・集団演技の進化を図り、リーダーを中心に、生徒主体の体育大会を進化させることを目指しました。

そこで生徒は、上記大会スローガンを掲げ、今大会に突き進んできました。

開会式では、体育委員長崎さんが、これまでの仲間との日々と周りの人への感謝への思いを選手宣誓で伝え、今年度体育大会がスタートしました。

宣誓

我々生徒一同は、これまで限られた時間の中で練習してきた仲間たちとの絆を胸に東長生全員で最高の体育大会をつくりあげます。そしてこの体育大会の開催に関わってくださったすべての方に感謝し、多くの勇気と希望を届けられるよう、最後まで正々堂々と全力を尽くすことを誓います。

行進、縦割り種目（短距離走・台風の目・綱引き・選抜リレー・ひがながヘラクレス）では、学年の壁を越えた熱い思いがあふれ、多くのリーダーの活躍が見られました。

応援旗には、仲間を、心の底から応援し、見守る気持ちがたくさん込められていました。

学級対抗リレー・1 年生の「魔法の絨毯」・2 年生の「長縄」の学年種目では、結果はそれぞれですが、何より、たくさん練習し、仲間を信じ、絆を深めた生徒の笑顔がたくさん見られました。

3 年生の集団演技「ダンス」「東長ソーラン」「東長崎コッコデショ」では、多くの方々に支えられ、達成感、充実感あふれる 3 年生の笑顔がたくさん見られました。さらには、する人、見る人、支える人、会場にいた全ての人の心が震え、全ての人の心が一つになるのを感じることができました。

そして閉会式では、生徒会長が、みんなの思いをしっかりとまとめ、締めくくってくれました。

今大会は、「する・見る・支える」を見事に実践し、感動ある生徒主体の進化した体育大会を達成させました。新しい東長崎中学校を創ってくれたと感じています。

下記に会長の挨拶を紹介します。

皆さんこんにちは。

今日の体育大会はどうでしたか？

3年生にとっては、最後の体育大会となりました。

一日延期となったものの、前日の大雨から一転、晴天の中、体育大会を迎えられたことを、心から嬉しく思います。

コロナ禍もあけ、前年度とも大きく変わった今年の体育大会は、2、3年生もわからないことが多かったと思います。

そんな中でも、仲間と団結しあい、一生懸命に取り組む姿は、体育大会スローガン「シン・ヒガナガ～信じる心で突き進め新たな東長へ～」にふさわしいものだったのではないのでしょうか。

この体育大会が大人になっても、忘れない思い出になっていることを願います。

お礼

大会開催にあたり、平日開催にもかかわらず、マナーを守り、多くの方々に参観いただき感謝申し上げます。

また、「東長崎コッコデショ」のご指導をいただきました東長崎コッコデショ保存会の皆様、朝早くより大会の運営にご協力いただいた、長崎地区安全協会矢上第一支部・第二支部の皆様と PTA 役員の皆様、本当にありがとうございました。